

第5回佐倉市行政評価懇話会 会議要録

開催日	平成31年2月14日(木)
会議時間	14時00分～15時30分
開催場所	1号館3階会議室
出席委員	[委員長] 武藤 博己 [副委員長] 大野 直道 [委員] 川上 いづみ、笹井 万里恵、高橋 義和、藤本 健太郎
欠席委員	[委員] 伊藤利之
傍聴人	0名
事務局	岩井企画政策部長、和田企画政策課長 企画政策課 藤崎副主幹、齊藤主査、松本主査、児島主任主事
協議事項	行政評価に関する提言について

【議事内容】 ※凡例：○委員、⇒行政

1. 行政評価に関する提言書について

〔決定事項〕

提言書案について以下の内容を修正・確認し、提言書として取り纏める。

①表中記載等の修正

- ・指標の実績等を記載した表の欄外にある*の部分は、表の補足説明のためゴシック体から明朝体へ修正し、表中処理や適切な個所での記載を行う。
- ・達成値を暫定値で議論した指標もあるが、提言書においては議論内容に齟齬が生じていないことから確定値を記載する。
- ・文言や用字用語、文体等を再確認する。

②「まち・ひと・しごと創生総合戦略」と「佐倉市まち・ひと・しごと創生総合戦略」が混在しており、全て「佐倉市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に統一する。

2. 来年度の行政評価の進め方について

〔決定事項〕

- ・今年度の行政評価は「指標が初期値以下のもの」を対象としたが、来年度の行政評価は「目標値の達成状況が80%未満のもの」を対象とする方向とする。ただし、今年度既に議論したものについては対象の除外等を検討する。

〔意見〕

○「目標値の達成状況が80%未満のもの」は、何件くらいあるのか。

⇒30～40件くらいと見込んでいる。今年度評価いただいた指標を除くと、本年度と同程度になると見込んでいる。

○来年度の評価も年度末頃までかかることが見込まれる。その場合、提言書作成時には計画の最終年度である31年度の実施事項等がほぼ固まっており、その中でどのような評価・提言を行うか検討が必要である。30年度の評価時に31年度の見込みを併せて報告するなど、進め方の検討が必要である。

○総合戦略は2019年度で終わるのか。次期の総合戦略はどうなるのか。

⇒次期の総合戦略を策定するよう国から要請がきており、来年度策定を予定している。

現在のように総合計画の中に重点施策として位置付けるか、総合計画とは別の計画にするかも含め内部で検討を進めている。

○総合戦略の指標と総合計画の指標等が相違することはあるのか。

⇒施策・指標ともにできる限り一致させたいと考えているが、相違する可能性もある。

(以 上)